



脱炭素 チャレンジ
カップ 2024

2024/2/6(木)
伊藤謝恩ホール

CONTENTS

挨拶	
委員会の紹介	3
開催までの流れ	
表彰内容	4
開催プログラム	5
受賞結果	6
受賞取組	7-19
アイデア賞	20
アンケート結果	21
寄付・支援方法	22
これまでのあゆみ	23

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて

近年の気象異常や災害の頻発などの状況を踏まえ、気候変動対策をより加速化するために、名称を変えながら「脱炭素チャレンジカップ2024」は14回目を迎えました。

本大会は、脱炭素を目的とした地球温暖化防止に関する地域活動について、書類審査、プレゼンテーション審査を行い、優れた取組を表彰する全国大会です。脱炭素に関する情報やノウハウを共有し、さらなる連携や意欲を創出することで、豊かな脱炭素社会を創造する「場」となることを目指しています。

今回も学校・市民団体・企業・自治体など幅広い世代が応募し、エントリー総数161件(アイデア賞含む)の応募がありました。その中から24団体が一堂に会し、環境大臣賞や文部科学大臣賞などの各賞を発表しました。

開催にあたっては、本大会に賛同いただいた企業・団体の皆様からのご支援・ご協力をいただきました。

開催概要

日 程	令和6年2月6日(火) 10:00~17:00
開催方法	ハイブリッド開催(会場:伊藤謝恩ホール(東京大学内))
参加費	無料(事前登録制)
主催	脱炭素チャレンジカップ実行委員会 委員長:小宮山宏(三菱総合研究所 理事長)
共催	一般社団法人地球温暖化防止全国ネット、 一般財団法人セブン-イレブン記念財団
特別協賛	ユニ・チャーム株式会社、株式会社ニトリホールディングス
協賛	一般社団法人日本WPA、新田ゼラチン株式会社、レンゴー株式会社、サラヤ株式会社、一般社団法人炭素会計アドバイザー協会、株式会社タンソーマンGX、日本マクドナルド株式会社、公益財団法人SOMPO環境財団、株式会社ウェストボックス、チェックフィールド株式会社、脱炭素化支援株式会社、東部燃焼株式会社、株式会社ECI、株式会社アクトリー、株式会社i3experience、北越コーポレーション株式会社、株式会社Pure Cycle いばらき、株式会社リサイクルパーク、株式会社エコソー技術研究所、水戸ヤクルト販売株式会社、水戸さくらロータリークラブ、エコドライブ研究所、東北おひさま発電株式会社、ダイキンHVACソリューション東京株式会社、JX金属株式会社、株式会社トイント、フェニックス・コンタクト株式会社、有限会社リビング館ホンダ、中央電気工業株式会社、株式会社日省エンジニアリング、有限会社てらじま
協力	オルタナ、気象キャスターネットワーク、木原木材店、こどもエコクラブ、ファインモーターズスクール、キリン、川本園、再エネ100宣言RE Action、GEOC、ユアサ木材、アースデイ東京、ウォータースタンド株式会社
後援	環境省、文部科学省、プラチナ構想ネットワーク、国連広報センター
事務局	一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
HPアクセス数	520名

脱炭素チャレンジカップ2024 挨拶



環境省 地球環境局 地球温暖化対策課
脱炭素ライフスタイル推進室 室長補佐

井上 昇

まずは受賞者の皆さま、おめでとうございます。また、「脱炭素チャレンジカップ2024」が、盛大に開催されたことを心よりお慶び申し上げます。伊藤信太郎環境大臣は就任来、環境問題は同心円の問題であると話しておられます。個人の行動の積み重ねが、地域の経済や社会の在り方を変え、日本全体・地球の未来につながっていくとの考えです。受賞者の皆さまは、まさに同心円の中心でチャレンジされ続けている方々であると実感しています。

政府では2022年10月から「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」(デコ活)を進めています。脱炭素な営みと豊かな暮らしを両立しようという取組です。今回、審査委員を務め、エントリーいただいたすべての活動を拝見し、まさにアイデアの宝庫と思いました。ぜひ共に取組を進めていけたらと考えております。以上で私からの御挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



文部科学省総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課長

安里 賀奈子

昨年、初めてこの場に立ち会いまして、皆さまの熱意を感じたことをよく記憶しております。

令和3年6月2日に地球温暖化対策の推進に関する法律が改正され、2050年までの脱炭素社会の実現、環境・経済・社会の統合的向上、国民を始めとした関係者の密接な連携等が、地球温暖化対策を推進する上での基本理念として示されたところです。まさに皆さまの活動やそれを応援する企業の存在が、非常に重要と感じています。

文部科学省としても、学校における環境教育の充実や、体験活動の推進、持続可能な開発のための教育であるESDの推進など、環境教育の推進に取り組んでいるところです。また、関係省庁と連携して、環境教育等の推進に関する基本的な方針の改定に向けて作業しています。本日の皆さまの活動に後押しされながら、文部科学省としてもしっかり取組を進めてまいりたいと考えております。

学校や地域において環境教育で学んだ経験や知識を活かし、持続可能な社会の実現に向けて、脱炭素、地球温暖化防止に関わる活動に、今後もぜひ積極的に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

委員会のご紹介

実行委員会

(順不同、敬称略)

委員長	小宮山 宏	株式会社三菱総合研究所 理事長
副委員長	川北 秀人	IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表者CEO
	江守 正多	国立環境研究所 地球システム領域 上級首席研究員 東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
委員	森永 仁	一般財団法人セブン-イレブン記念財団 事務局長
	高村 ゆかり	東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
	高橋 万見子	朝日新聞社 SDGs ACTION!編集長
	井上 雄祐	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 脱炭素ライフスタイル推進室長
	高田 研	一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 理事長
	山本 陽来	青年環境NGO Climate Youth Japan
	鈴嶋 克太	国際青年環境NGO A SEED JAPAN
	高田 研	一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 理事長

審査委員会

(順不同、敬称略)

委員長	江守 正多	国立環境研究所 地球システム領域 上級首席研究員 東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
副委員長	尾山 優子	一般社団法人環境パートナーシップ会議 理事 事務局長
委員	松井 敬司	一般財団法人セブン-イレブン記念財団 事務局長
	桃井 貴子	認定NPO法人気候ネットワーク 東京事務所長
	岩谷 忠幸	オフィス気象キャスター株式会社 代表取締役
	熱田 靖	ユニ・チャーム株式会社 ESG本部 ESGグループ
	大木 満	株式会社ニトリホールディングス 常務執行役員 組織開発室 室長
	小川 勇造	一般社団法人日本WPA 事務局長
	矢野 琢司	レンゴー株式会社 環境経営推進部 部長
	代島 裕世	サラヤ株式会社 取締役 コミュニケーション本部 本部長
	山田 英司	一般社団法人炭素会計アドバイザー協会 副理事長
	鈴木 順子	公益財団法人SOMPO環境財団 事務局長
	鈴木 修一郎	株式会社ウェストボックス 代表取締役
	森 撰	株式会社オルタナ 代表取締役 編集長
	井田 寛子	特定非営利活動法人気象キャスターネットワーク 理事長
	梅田 靖	東京大学大学院工学系研究科 教授 再エネ100宣言 RE Action 協議委員